

製品安全データシート

販売元情報

会社名 : 株式会社 フカガワ
 住所 : 埼玉県川口市西青木2-9-5
 担当部門 : 資材部
 電話番号 : 048-257-3111
 FAX番号 : 048-256-6629

整理番号 No. 1988

作成日 2017年 10月 30日

製品名(化学名、商品名等)

FN-350

物質の特定

単一製品・混合物の区別 混合物

成分 : ガラス繊維, ポリ塩化ビニル, フタル酸系可塑剤, 燐系可塑剤, 防炎剤, 安定剤, 充填剤, 防黴剤,
 紫外線吸収剤, 顔料

化学名及び含有量 : 非公開

化学式又は構造式 : ガラス繊維(アルミナ珪酸ガラス), ポリ塩化ビニル $(\text{CH}_2\text{CHCl})_n$, DOP $\text{C}_6\text{H}_4(\text{COOC}_8\text{H}_{17})_2$,
 三酸化アンチモン Sb_2O_3

官報公示整理番号 : ガラス繊維 非該当, ポリ塩化ビニル 6-66, DOP 3-1307, 三酸化アンチモン 1-543

CAS No : ガラス繊維 65997-17-3, ポリ塩化ビニル 9002-86-2, DOP 117-81-7,
 三酸化アンチモン 1309-64-4

国連分類及び国連番号 なし

危険有害性の分類 分類の名称 : 分類基準に該当しない。

危険性 : 製品としてのデータなし。

有害性 : 製品としてのデータなし。

環境影響 : 特に環境を汚染するという文献はない。

応急措置

目に入った場合 : 通常使用条件では、目に入る事は無い。誤って目に接触した場合は、流水で良く洗った後に医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 一般的に皮膚に付着しても問題は無いが、異常を感じた場合は、付着した部分を水又は石鹸水で良く洗う。もし、皮膚に炎症が生じた場合は、医師の診断を受ける。

吸入した場合 : 直ちに新鮮な場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 不快感を覚えたときは、医師の診断を受ける。

火災時の措置	消火方法 : 初期に水又は粉末、泡、炭酸ガス消火器など使用し、大規模火災には泡消火剤が有効である。 消火剤 : 水、粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂 その他 : 燃焼すると刺激性のガスが発生する。ガスの主要成分はHCl、CO、CO ₂ 、りん酸性ガスである。
--------	---

漏出時の措置	漏出ししない
--------	--------

取扱い及び 保管上の注意	取扱い : 火気、静電気、衝撃火花などによる着火源の生じないように注意する。尚、カット細粉の皮膚への付着、吸入、飲み込みの際は応急措置記載の方法に従う。 保管 : 直射日光、水漏れ、高温高湿を避け、火気から遠避けて保管する。
-----------------	---

暴露防止措置	管理濃度 : 該当しない 許容濃度 : なし 設備対策 : 必要なし 保護具 呼吸用保護具 : 特に必要としない 保護眼鏡 : 特に必要としない 保護手袋 : 特に必要としない 保護衣 : 必要なし
--------	---

物理／化学的 性質	外観等 : ガラス基布に塩化ビニル樹脂を表裏に積層したシート 沸点 : なし 蒸気圧 : なし 揮発性 : データなし 融点 : データなし 溶解度 水 : データなし
--------------	---

危険性情報 (安定性・ 反応性)	引火点 : データなし 発火点 : データなし 可燃性 : データなし 発火性 (自然発火性、水との反応性) : なし 酸化性 : なし 自己反応性・爆発性 : なし 粉じん爆発性 : なし 安定性・反応性 : 安定。水、海水、空気との反応な
------------------------	---

有害性情報 (人についての症例、疫学的情報を含む)

製品としてのデータは無い。参考として、三酸化アンチモンとフタル酸系可塑剤 (DOP) のデータを記載する。

	三酸化アンチモン	フタル酸系可塑剤 (DOP)
急性毒性 (経口)	区分外	区分外
急性毒性 (経皮)	区分外	区分外
急性毒性 (吸入: ガス)	分類対象外	分類対象外
急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない	分類できない
急性毒性 (吸入: 粉塵)	区分外	分類対象外
急性毒性 (吸入: ミスト)	分類対象外	区分外
皮膚腐食性・刺激性	区分外	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外	区分 2 B
呼吸器感作性	区分外	分類できない
皮膚感作性	区分外	区分外
生殖細胞変異原性	区分外	区分外
発ガン性	区分 2	区分外
生殖毒性	区分外	区分外
特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	区分外	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	区分外	区分外
吸引性呼吸器有害性	分類できない	分類できない

環境影響情報・・・製品としての知見はない。参考として成分中のフタル酸系可塑剤 (DOP) について情報を記載する。

水性環境急性有毒性 : 区分外

水性環境慢性有毒性 : 区分外

分解性 : BOD による分解度 69%

蓄積性 : 経済産業省の既存化学物質安全性点検結果では濃縮性はないと報告されている。

魚毒性 : メダカ LC50 75mg/l<, ニジマス LC50 540mg/l<

廃棄上の注意

大気汚染防止法等の諸法令に従って焼却、処理するか又は廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従って、公認の産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合は、その団体に委託して処理する。

輸送上の注意

梱包袋が破れないように乱暴な取扱いを避ける。車両等への積み込みに当たっては転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
国際分類: 危険物に該当しない 国連番号 なし

-
- 適用法令** 廃棄物の処理及び清掃に関する法律： 廃棄する場合、産業廃棄物の廃プラスチックに該当する。
- 労働安全衛生法： 第57条の2 (労働安全衛生法による通知対象物質として、三酸化アンチモン、フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)、すず及びその化合物を含有しています。)
- 労働安全衛生法： 粉塵障害防止規則(ガラス繊維を裁断する場所において作業する場合適用)
- PRTR法： 非該当
(PRTR法該当物質の三酸化アンチモン・DOP・有機錫化合物を含有しますが、フィルム、シートのような一定の形状を有する成型品は対象外となります。)
- 輸出貿易管理令： キャッチオール規制第39類プラスチック及びその製品に該当します。
-

その他 (記載内容の問い合わせ先、引用文献等)

- 引用文献**
- 1) 無機化学全書 IV-4 (丸善)
 - 2) 公害と毒・危険物 (三共出版)
 - 3) 毒劇物基準関係通知集 (業務広報社)
 - 4) 劇物毒物取締の手引き (時事通信社)
 - 5) 11892 の化学商品 (化学工業日報社)
 - 6) IARC MONOGRAPHS VOLUME 47
 - 7) 産業医学 3 3 巻 JPN
 - 8) Registry of Toxic Effects of Chemical Substance (1985)
 - 9) 村井孝一 可塑剤—その理論と応用—P162, 181 (1973)
 - 10) JETOC 化審法の既存化学物質安全性点検データ集 (1992)
 - 11) World Health Organization, Environmental Health Criteria 131 (1992)
 - 12) 化学品検査協会 DOP の微生物による分解度試験
 - 13) 竹内正幸 日本薬学会第 96 年会講演要旨集 III P139 (1976)
 - 14) 既存化学物質ハンドブック第 5 版 (化学工業日報社 1988)
 - 15) 製品安全データシートの作成指針 ((社)日本化学工業協会 2006)

フィルム、シートのような一定の形状を有する成型品はMSDSの作成対象から除外されるので、ケボロンG-3500 N3012 も対象外であるが、危険有害性の評価を可能な範囲で誠意をもって自主的に作成したものである。

- ①危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。
- ②この製品安全データシートは、当社の製品を適正にご使用頂く為に必要で、注意しなければならない事項を簡潔に纏めたもので、通常の取り扱いを対象としたものです。
- ③本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱って下さい。
- ④ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所見の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂される事が有ります。

以上